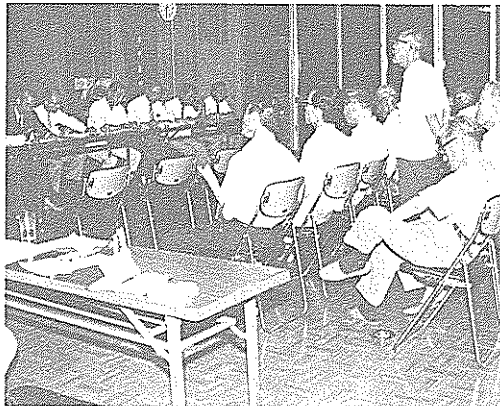


前浜地区市政懇談会

排水問題などを話し合う

執行部に質問する地元代表者



七月十五日、公民館事業の一環として、前浜公民館で前浜地区市政懇談会が開かれました。市からは市長、教育長をはじめ、関係各課長ら八人が、また、地元からは約四十人が参加して、地元の抱える問題や市政について約三時間にわたり熱心に話し合いました。

公民館長のあいさつの後、まず、市長が市政の現状を次のように報告しました。

着任以来空港、財政、同和対策を三本の柱にして努力してまいり、財政問題については曙光が見えてきました。同和対策については困難を感じていますが、できるだけ努力をします。今大事なことは産業と教育であると考えています。教育施設は特に遅れています。

基本的には三本の柱にその二本の柱を加えてやっています。

今日は皆さんの要望に答えられるスタッフはそろっていますので、きいたくない意見を開かせていただきますと思います。話し合いの主な内容は次のとおりです。

○下水の排水対策について
議会で陳情書が採択されたが、その件はどうなっているのか。

●海岸地帯の排水問題を

解決するために、海岸排水対策委員会が設置されている。

問題になっている場所は黒潮ラインよりも南の前浜から十市丸山までの約八、であり、水路がない。

排水の受け皿については、自転車道の関係で堤防の裏に越波排水溝ができるのでそれを利用したいと考えているが、それに管理道をつけることで地元の反対を受けて難航している。今後も地元と十分話し合いをしていきたい。

越波排水溝までの水路については、農業集落排水対策で行うことを検討しているが、国の基準に合致するかどうかという問題がある。また、排水はたれ流しではなく、浄化して流すことも考えなければならぬ。地元の負担も必要と思うので、承知しておいてもらいたい。

○同和対策事業について、良住宅の見直しや改良住宅の不足、南部集会所の敷地、住環境の問題などはどうなっているのか。

●前浜地区は、皆さんの協力で九五の進捗がよく状況だ。良住宅であつたものが不良化しているが、国の見直しはない。改良住宅は六世帯分不足しており、今後国に要望していく。集会所の敷地問題については敷地登記が不完全で、地権者の承諾を得るのが困難である住環境の改善については早急に解

決したい。

○久保組公民館の改築について、地元負担や補助の割合はどうなるのか。

●小集落地区改善事業の集会所建設ということで認可をもらっている。調査すると土地が部落所有地ではなく、個人名義になっている

西山跨線橋が開通

南国地区広域農道の西山跨線橋が開通し、七月二十日、県、市の関係者や地権者約七十人が出席して竣工式が行われました。

この広域農道は、南北交通の幹線として、黒潮ラインから国道三二号線までを結ぶ延長一万六千四百

メートルと安全化を図るためのものです。

西山跨線橋は、土讃本線と国道一九五号線が並行しているところを立体交差する長さ四百四十五メートルの橋梁です。昭和五十九年度に工事に着手、総事業費二億一千万円。

この跨線橋が完成したことにより、既に市道に認定されている分を含めて久礼田から包末までの約五・五キロが通行できるようになりました。

この日の式典では、神事の後、中内知事や小笠原市長らがテープカット。三代夫婦を先頭に、関係者や地元の農家のトラクター約二十台などが渡り初めをしました。



地元の農家のトラクターが渡り初め